

令和4年度 前期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 自己評価専門部会

目 次

- 1 はじめに
 - 2 全体の概要
 - 3 全体の集計結果
 - 4 対象となる授業一覧
 - 5 資料
 - 5-1 授業評価票（別紙1）
 - 5-2 自己点検レポート（サンプル）（別紙2）
- 個々の授業別結果 及び 教員の自己点検レポート

1 はじめに

本報告書は、令和4年度前期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。今回も、非常勤講師を含めた全教員の授業を対象に授業評価を行った。しかし、受講者が1名以下の授業科目は、回答する学生が特定されてしまうため、実施を見送った。

授業評価アンケートは、今回よりオンライン上で実施することとし、Google フォームを利用したアンケート作成と、G Suite 上 classroom を利用してのアンケート配信を実施した。個々の授業科目ごとのデータ処理は Google フォームアンケートの機能を利用し、全体の集計は、個々のエクセルデータを統括し算出した。

オンラインでのアンケート調査を全学的に実施することは初めての試みとなったため、担当委員で様々なシュミレーションを実施し、検討を重ね、操作マニュアルを作成し、教職員への操作性レクチャー会も実施した。オンラインでのアンケート実施とその後のデータ提出方法などのレクチャーを試みたが、オンライン化初年度ということもあり、特に非常勤講師の問い合わせ対応等が想像以上に多く、担当委員の負担は大きかった。パソコンの操作を得手としない非常勤講師への対応は今後も大きな課題となるものと思われる。

また、授業評価の必要性の認識は定着しつつあるものの、授業評価の必要性と大学教員としての義務や啓蒙という説明は、一部ではあるが教員の入れ替わりもあるために、数年に1度は必要なのではないかと思われ、特に非常勤講師に対しては何らかの対応策を講じる必要があるものと思われる。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成20年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的

本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学習態度の反省と学習意欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、出席状況や学習に対する意欲、課外学習の状況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクションとの2部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、教員が任意に設問を追加することもできる。さらに、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

個々の授業別結果は、回答後すぐにグラフ化されたデータを見ることが可能となり、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。全体のデータは、個々のデータをまとめた集計結果を算出し、各授業の各項目について、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出(サンプルは別紙3)する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを300字程度のレポートにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の

点について自己点検することになっている。

- 1 前回からの改善点（前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。）
- 2 授業評価結果についての分析（「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」）
- 3 「上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み
- 4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題
- 5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データと印刷物として学内で保管されており、自由に閲覧が可能である。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の WEB で公開している。

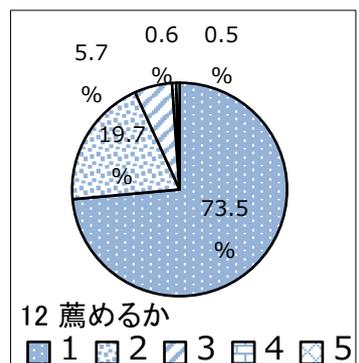
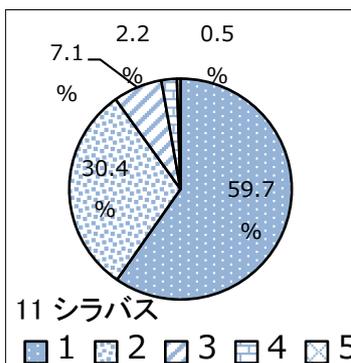
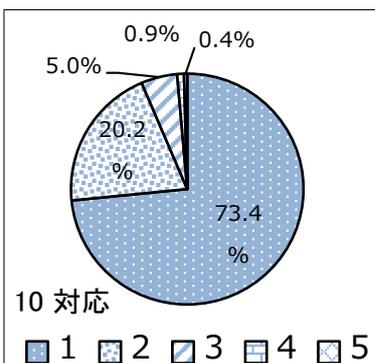
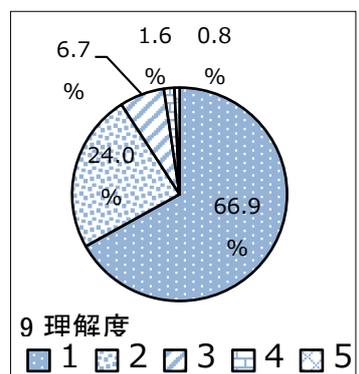
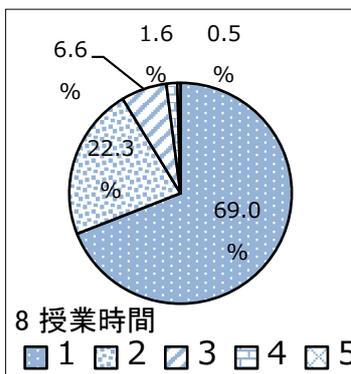
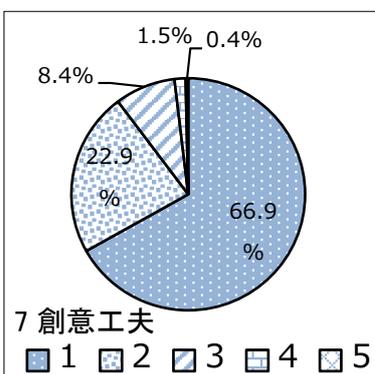
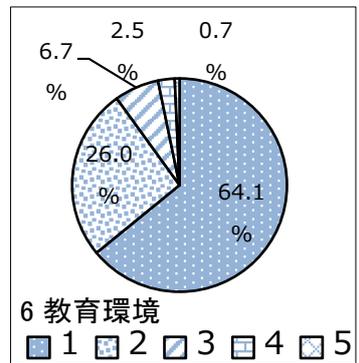
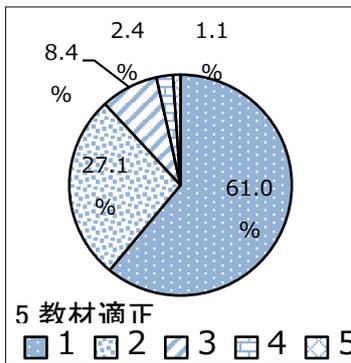
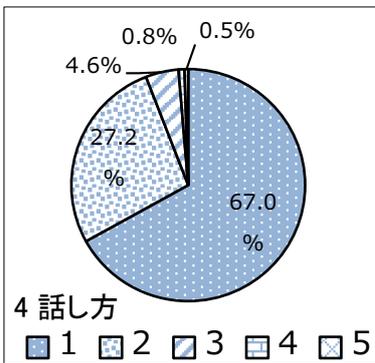
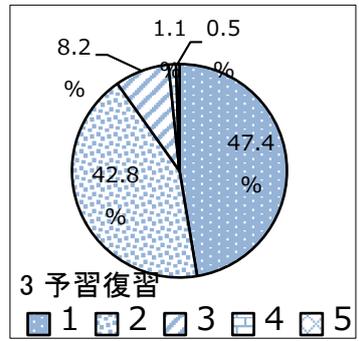
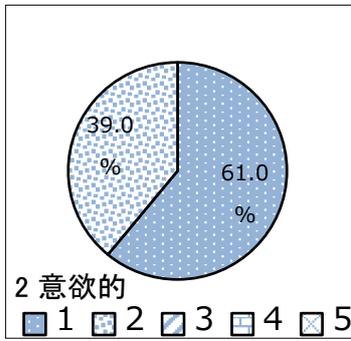
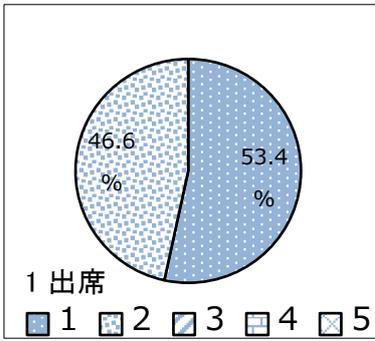
3 全体の集計結果

令和4年度前期の授業評価の全体の結果について、いずれの設問でも肯定的な回答が90%程度を占めており、全体的に評価は高いと言える。

学生自身の授業態度について、設問の「出席」「意欲」ともに肯定的な評価がほぼ100%の回答であることから概ねよかったが、「予習復習」に関しては若干、肯定的な回答率が減少している。このことは、意欲はあるのに予習復習が進まない学生の存在を示すものと考えられるため、その原因究明と対応が必要になってくると考えられる。

教員の取り組みについて、いずれの設問も肯定的な1・2の回答が85%以上であったことから高評価であることがわかるが、「教材適正」「教育環境」「創意工夫」の項目でやや否定的な回答の出現が目につく。教材や教育環境は施設や設備の問題もあり、教員だけでは対処できないこともあると思われるが、学生の意見を真摯に受け止め、改善を試みる必要があると思われる。また、「授業時間」に否定的な回答の出現があるのは、実習等の関係で土曜開講等も開設せざるを得ない状況にあったことが関係しているものと推察する。このようなことから「理解度」「シラバス」の項目での評価も連動して若干否定的な回答が出現しているものと思われる。

まとめ	調査票件数: 2009											
選択肢	1 出席	2 意欲的	3 予習復習	4 話し方	5 教材適正	6 教育環境	7 創意工夫	8 授業時間	9 理解度	10 対応	11 シラバス	12 薦めるか
1	1066	1224	928	1309	1193	1253	1310	1350	1310	1475	1169	1440
2	930	783	839	531	531	509	448	436	470	405	596	385
3	0	0	160	89	164	131	164	130	132	101	140	111
4	0	0	22	16	47	49	30	31	31	19	44	12
5	0	0	10	10	21	14	7	9	15	9	10	10
	1996	2007	1959	1955	1956	1956	1959	1956	1958	2009	1959	1958



4 対象となる授業一覧

令和4年度前期授業科目

科目番号	科目名	担当教員	提出	対象学科
基礎科目				
1002	国語表現	海本		保育・服飾美術
1006	数学	大原	○	保育・服飾美術
1007	心理学	澤田	○	保育・服飾美術
1008	経済学入門	唐澤	○	保育
1009	経営学入門	岩崎	○	保育
1010	キャリアデザイン	佐藤（由）	○	保育・服飾美術
1011	情報機器の操作 I	大原	○	保育
1013	情報処理演習 I	大原	○	服飾美術
1015	英語 I（コミュニケーション）	栗原	○	保育・服飾美術
1018	英語 III	栗原	○	保育・服飾美術
1020	フランス語 I	石井	○	服飾美術
保育学科				
2001	保育原理	小久保	○	保育
2003	子ども家庭福祉	宮崎	○	保育
2004	社会福祉	宮崎	○	保育
2007	保育者論	小久保	○	保育
2009	発達心理学 I	長櫓	○	保育
2012	子どもの保健	平岡	○	保育
2013	子どもの食と栄養	小野	○	保育
2016	幼児教育課程論	木戸	○	保育
2017	保育方法技術論	瀧澤	○	保育
2018	保育内容総論	馬場	○	保育
2023	表現の指導法	金山・及川・別府	○	保育
2028	幼児と健康	及川・平岡	○	保育
2029	幼児と人間関係	木戸	○	保育
科目番号	科目名	担当教員	提出	対象学科

2030	幼児と環境	大江		保育
2031	幼児と言葉	浅野	○	保育
2048	幼児と歌唱表現Ⅱ	三川	○	保育
2049	幼児と造形表現	金山	○	保育
2050	幼児と身体表現	若林	○	保育
2053	乳児保育Ⅱ	小川		保育
2056	社会的養護Ⅱ	宮崎	○	保育
2058	保育実習Ⅰ(1)	木戸・大江		保育
2060	保育実習Ⅱ	木戸・大江		保育
2061	保育実習Ⅲ	宮崎		保育
2063	保育実習法Ⅰ	木戸	○	保育
2064	保育実習法Ⅱ	木戸・脇本	○	保育
2065	保育実習法Ⅲ	宮崎・長櫓		保育
2067	教育実習法	小久保	○	保育
服飾美術学科				
3001	生活デザイン総論	服飾美術学科全教員	○	服飾美術
3003	服飾文化史	宇野	○	服飾美術
3004	服飾造形論	乾	○	服飾美術
3005	服飾造形実習Ⅰ 乾	乾	○	服飾美術
3006	服飾造形実習Ⅰ 武永	武永	○	服飾美術
3009	服飾造形実習Ⅲ	武永	○	服飾美術
3013	パターンメイキング(CAD)Ⅱ	乾	○	服飾美術
3014	デニム学	武永	○	服飾美術
3015	デニム学演習	武永	○	服飾美術
3017	服飾管理学	佐藤(希)	○	服飾美術
3018	服飾管理学実験	佐藤(希)・道明	○	服飾美術
3019	染色加工学	古濱	○	服飾美術
3020	服飾繊維学	道明	○	服飾美術
3021	服飾繊維学実験	道明	○	服飾美術
3024	服飾人間環境学	佐藤(希)	○	服飾美術
科目番号	科目名	担当教員	提出	対象学科

3026	服飾人間工学	佐藤（希）	○	服飾美術
1008	経済学入門	唐澤	○	服飾美術
1009	経営学入門	岩崎	○	服飾美術
3030	法学入門	高橋（正）	○	服飾美術
3034	ファッションビジネス	岩崎	○	服飾美術
3036	消費者調査法	岩崎	○	服飾美術
3040	経済政策論	唐澤	○	服飾美術
3042	アート造形技法演習Ⅰ	趙	○	服飾美術
3043	アート造形技法演習Ⅱ	趙	○	服飾美術
3044	モードデッサンⅠ	趙	○	服飾美術
3047	テキスタイルデザインⅠ	田中	○	服飾美術
3048	テキスタイルデザインⅡ	田中	○	服飾美術
3049	CG 基礎演習	竹島	○	服飾美術
3050	クリエイション論	上村	○	服飾美術
3052	ライクスタイル [®] 外演習	上村	○	服飾美術
3055	カラーコーディネート論	高橋（俊）		服飾美術
3056	染織Ⅰ	田中	○	服飾美術
3059	ビジュアルデザインⅠ	ウォルトン	○	服飾美術
3060	ビジュアルデザインⅡ	竹島	○	服飾美術
3063	基礎デッサン	野村	○	服飾美術
3064	人体デッサン	野村	○	服飾美術
3066	店舗空間演出演習	松内	○	服飾美術
3068	基礎デザイン	松内	○	服飾美術
3069	空間デザイン演習	松内	○	服飾美術
3072	インターンシップⅠ	服飾美術学科全教員		服飾美術（1年生用）
専攻科・関連科目				
4001	情報処理論	大原・唐澤	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4002	国語表現法演習	海本		保育臨床専攻・服飾美術専攻
4003	スポーツⅠ	及川	○	保育臨床専攻
4006	造形表現論	松内	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
科目番号	科目名	担当教員	提出	対象学科

4007	立体制作論	松内	○	保育臨床専攻・服飾美術専攻
4008	品質管理	古濱	○	服飾美術専攻
4011	ビジュアルデザイン論	片山	○	服飾美術専攻
4013	ドローイング I	野村	○	服飾美術専攻
4015	造形表現	松内	○	服飾美術専攻
保育臨床専攻				
5001	幼児の音楽遊び演習 I	三川	○	保育臨床専攻
5003	幼児の造形遊び演習	金山	○	保育臨床専攻
5007	音楽指導法特別演習 II	別府	○	保育臨床専攻
5008	造形指導法特別演習 I	金山		保育臨床専攻
5009	造形指導法特別演習 II	金山	○	保育臨床専攻
5012	教育の思想と歴史	小久保	○	保育臨床専攻
5014	特別支援教育特論	眞次	○	保育臨床専攻
5015	子どもの人権教育論	小久保	○	保育臨床専攻
5016	発達心理学特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5017	教育相談特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5021	幼児の国際理解演習	栗原	○	保育臨床専攻
5023	児童福祉特論	宮崎	○	保育臨床専攻
5024	乳児保育特論	平岡	○	保育臨床専攻
5029	子育て支援特論	眞次	○	保育臨床専攻
服飾美術専攻				
6005	服飾造形実技 II	乾	○	服飾美術専攻
6009	被服心理学	乾	○	服飾美術専攻
6017	地域活性化論	唐澤	○	服飾美術専攻
6020	マーケティングコミュニケーション論	岩崎	○	服飾美術専攻
6021	アパレル経営論	岩崎	○	服飾美術専攻
6024	アート演習 I	趙	○	服飾美術専攻
6025	アート演習 II	趙	○	服飾美術専攻
6027	テキスタイルデザイン演習 I	田中	○	服飾美術専攻
6028	テキスタイルデザイン演習 II	田中	○	服飾美術専攻
科目番号	科目名	担当教員	提出	対象学科

6032	ライフプロダクト論	上村	○	服飾美術専攻
6034	ライフプロダクト演習Ⅱ	上村	○	服飾美術専攻
6035	アパレル産業研修	服飾美術学科全教員	○	服飾美術専攻
6036	産業研修Ⅰ	服飾美術学科全教員	○	服飾美術専攻（1年生用）

5-1 授業評価票（別紙1）

2022 前期 倉敷市立短期大学 授業評価 調査票

この授業評価調査は、講義内容の一層の充実と教材の開発・授業方法の改善を行うとともに、学生みなさんの学習意識の自覚を喚起し、教員と学生の協働の下で、より質の高い授業を創造していくことを目的としています。あなたの成績評価とは全く関係ありませんので、建設的な気持ちで以下の問いにお答えください。なお、回答はすべて統計的に処理され、プライバシーが損なわれたり、本学での生活に不利益が生じたりすることはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・ 授業評価への回答は、5～10分で終わります。
- ・ 授業評価への回答は自由意思によります。回答しなくとも不利益を被ることはありません。
- ・ 無記名でメールアドレスの収集もしないため、個人が特定されることは一切ありません。
- ・ 結果の管理は厳重に行い、保管する必要がなくなった時点で完全に破棄します。
- ・ 集計結果は、学内向けに公表する予定です。

倉敷市立短期大学 自己評価専門部会

授業科目名：○○○○

科目番号：○○○○

回答期限：令和・年・月・日（・）まで

0. 同一回答者による回答の重複を避けるため、任意の4桁の数字を半角で入力してください。（連番：1234，ゾロ目：7777，学籍番号は不可）

1. 学科／専攻

1 つだけマークしてください。

1. 保育学科／専攻科（保育臨床専攻）
2. 服飾美術学科／専攻科（服飾美術専攻）

2. 学年・所属

1 つだけマークしてください。

1. 1年
2. 2年
3. 科目等履修生

3. あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

1 つだけマークしてください。

1. 欠席しなかった
2. 1～2回欠席した
3. 3～4回欠席した
4. 5回欠席した
5. 6回以上欠席した

4. あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

1 つだけマークしてください。

1. 意欲的に取り組んだ
2. どちらかという、意欲的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかという、意欲的に取り組まなかった
5. 意欲的に取り組まなかった

5. あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。

1 つだけマークしてください。

1. 積極的に取り組んだ
2. どちらかという、積極的に取り組んだ

3. どちらともいえない
4. どちらかというと、積極的に取り組まなかった
5. 積極的に取り組まなかった

6. 教員の話し方は、明瞭でわかりやすいものでしたか。

1 つだけマークしてください。

1. わかりやすいものだった
2. どちらかというと、わかりやすいものだった
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、わかりやすいものではなかった
5. わかりにくかった

7. 使用テキスト、副教材（資料プリント等を含む）は、適切だと思いましたか。

1 つだけマークしてください。

1. 適切だと思った
2. どちらかというと、適切だと思った
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、不適切だと思った
5. 不適切だと思った

8. 授業を行う上での機器や機材等の教育的環境は、満足できるものでしたか。

1 つだけマークしてください。

1. 満足できた
2. どちらかというと、満足できた
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、満足できなかった
5. 満足できなかった

9. 授業内容をより良く理解させるための創意・工夫が感じられましたか。

1 つだけマークしてください。

1. 創意・工夫が感じられた
2. どちらかというと、創意・工夫が感じられた

3. どちらともいえない
4. どちらかというと、創意・工夫が感じられなかった
5. 創意・工夫が感じられなかった

10. 授業の特性を考慮した上で、授業の開始時間および終了時間は、満足 できるものでしたか。

1 つだけマークしてください。

1. 満足できた
2. どちらかというと、満足できた
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、満足できなかった
5. 満足できなかった

11. 授業の内容は、十分に理解できましたか。

1 つだけマークしてください。

1. 十分に理解できた
2. どちらかというと、理解できた
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、満足できなかった
5. 満足できなかった

12. 教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応して くれましたか。

1 つだけマークしてください。

1. 適切に対応してくれた
2. どちらかというと、適切に対応してくれた
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、不適切な対応だった
5. 不適切な対応が多かった

13. シラバスに基づいて授業を展開しましたか。

1 つだけマークしてください。

1. シラバスに基づいて展開した

2. どちらかというと、シラバスに基づいて展開した
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、シラバスに基づいての展開ではなかった
5. シラバスに基づいての展開ではなかった

1 4. この授業内容について、他の人（特に後輩たち）にも受講を薦めたい と思いましたが、

1 つだけマークしてください。

1. ぜひ、薦めたい
2. どちらかというと、薦めたい
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、薦めたくない
5. まったく、薦めたくない

1 5. その他、気づいたことがあれば、自由に書いてください。

5-2 「自己点検レポート」(サンプル)(別紙2)

令和4年度 前期授業評価：自己点検レポート

担当教員氏名〔 〕

学科・専攻名〔 学科／ 専攻〕

授業評価 科目名〔 〕 授業番号〔 〕

* 提出期限：データ 令和4年9月7日(水)

紙媒体 令和4年10月7日(金)

提出について(データファイルと紙媒体の両方)

・データファイル：

提出先：令和4年度自己評価専門部会(道明, michiaki@m.kurashiki-cu.ac.jp)(wordファイルで)

提出内容：ファイル名「授業自己点検 rep」の前に「授業番号・氏名・教科名」をつけてください。

・紙媒体：印刷したレポートの1部を事務局においてある提出箱に入れてください。

※ 字数：1・2については300字程度(必ず記入), 3・4は制限なし。

※ 複数ページになる場合には、印刷は両面印刷としてください。

- 1 前回からの改善点(前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。)

- 2 今回の授業評価結果についての分析(「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」がわかるように、箇条書きで記載してください。)

3 上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み

--

4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題

--

5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

--

2023年2月8日

倉敷市立短期大学 令和4年度 自己評価専門部会

保 育 学 科： 平岡 敦子

服飾美術学科： 佐藤希代子，道明 伸幸

編 集 担当： 佐藤希代子